



すみれ通信

2019年 3月 第6号

まだまだ寒さが残る毎日ですが、少しずつ春の足音が近づいてきました。4月からスタートしたすみれ組も残すところあと1か月。4月当初から比べて、心も体もとても大きく成長した子どもたち。顔つきもどことなく大人っぽくなったような気がします。

残りのわずかではありますが、子ども達が進級を楽しみに毎日を過ごしていけるようにしていきたいと思います。



頑張った縄跳び会



縄跳び会に向けて毎日練習に励んできた子ども達。はじめは、縄をうまく回すことが出来ず『できない!!』と縄を回しながら園庭を走り回っていたり、しゃがみこんで砂いじりをしている子も多く見られていましたが、一人、また一人とコツをつかみ始め、上手に跳ぶ姿が見られるようになりました。なわとび会近くになると、連続跳びができる子も見られるようになり、子ども達の方から『今日は練習しないの??』と催促されるようになりました。『今日は〇〇回跳んだよ!!』と手に書いてある記録を自慢げに見せ頑張る姿が印象的でした。当日も全力で参加した子どもたち。その真剣に縄を跳び越える姿にまた一つ大きな成長を感じました。クラスでは、縄跳び会後も縄跳びの練習をする姿が見られていて、来年の縄跳びの記録が今からとても楽しみです!!



一年間楽しかったね♪



新しいクラス、担任にドキドキしながら進級した子ども達。なかには新しい環境への不安から毎日泣いて登園する姿の子も見られました。そんな中、毎日少しずつ笑顔が多くなり賑やかになっていく子ども達の元気な姿に私も安心し、とても嬉しくなりました。

あまりの子どもたちの元気さに負けてしまいそうになる時もありましたが、そんな時、子ども達の方から『先生大丈夫??』『僕が先生を守ってあげるね!!』『先生、大好きだよ!!』と声をかけてくれ、沢山の元気を分けてもらいました。

時には、叱ることもあり『先生なんて嫌いだ!!』と言われたりすることもありましたが、最後は必ずそっと近くに来て、ギュッとしてくれたり、『ごめんね。』と小さな可愛い声で言ってくれる子ども達にキュンとさせられました。

また、保護者の方にはケガやトラブルなど沢山のご心配やご迷惑をおかけし、不安にさせてしまうこともありましたが、温かく見守っていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

今年一年、感受性豊かで思いやりがあり、たくさんの人達に元気や笑顔を与えてくれる子ども達と過ごさせていただき本当にありがとうございました。子ども達の大きな成長を傍で見て、感じる事が出来、本当に嬉しく、また私自身も子ども達と一緒に沢山成長させていただきました。

4月からはよいよゆり組ですね。これからの子ども達の成長もとても楽しみにしています。

一年間本当にありがとうございました。

